

C班

第2グループ

自立心あふれる学生を育成する

～学生を成長させるための情報ツールの活用～

自立心あふれる学生とは

- × 感覚的にPDCAサイクルをまわし
目標を達成できる
- × 自分で判断して積極性に行動できる
- × 人とうまくコミュニケーションがとれる

現状の課題

学生側
主体性がない

教職員側
学生支援の不足
情報共有の不足

学生側：主体性がない

- × 履修登録時に自分で確認しない
- × 学内ネットワークのパスワードを忘れる
- × 講義には出席するが受け身
- × 自分で調べない
- × 教室変更を自分で確認せずひとまかせ

教職員側：学生支援の不足

- × 相談窓口の不足
- × 効果的な情報提供ができていない
- × 低単位学生への対応が不十分

教職員側：情報共有の不足

- × 部署ごとに情報を持っている
- × 教員と職員との情報共有ができていない

解決策：やる木まんまんプログラム



解決策

やる木まんまんプログラム

やる気発見（自己評価）ツール	りんご1
学生生活アンケート	りんご2
授業評価アンケート	りんご3

学生側

◎感覚的にPDCAが身に付く
意識づけ（初年次教育）

現状把握～PLAN 行動計画

DO

CHECK

ACTION～現状把握～PLAN

DO

1年4月

1年9月

～1年3月

1年3月

2年4月

～2年3月

教職員との面談

教職員との面談

⇒自立心あふれる学生

教職員側

- × 相談窓口の不足
→面談で解決
- × 低単位学生への対応が不十分
→意識づけで防止
- × 効果的な情報提供ができていない
→アンケートを反映
- × 部署ごとに情報を持っている
→やる木まんまんプログラムで一括管理
- × 教員と職員との情報共有ができていない
→やる木まんまんプログラムで一括管理

自立心あふれる学生誕生！

- × 感覚的にPDCAサイクルをまわし
目標を達成できる学生誕生！
- × 自分で判断して積極性に行動できる学生誕生！
- × 人とうまくコミュニケーションがとれる
学生誕生！